

福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）整備事業について

まちづくり政策課

【趣旨】

旧山国社会福祉センターは、平成22年に実施した耐震調査の結果、耐震強度が不足していたため利用を廃止し、それまでこの施設で行われてきた生きがいデイサービス事業等の福祉事業はコアやまくにや中津市山国支所内で分散して行っている状況にあります。そのため、高齢者を中心とした福祉の拠点施設を整備することが望まれていました。

また一方では、平成20年に地域内唯一のスーパーが閉店し、移動販売も撤退していく状況で、生鮮食品の買い物の不便さを解消するため、昨年9月「山国地域買い物支援実証実験委託事業」を実施しました。その中で利用者に対しアンケート調査を実施した結果、「設置されれば、また利用する。」「ぜひ続けてほしい。」との意見が多くあったことから、今回、高齢者福祉と兼ね合わせた複合施設、福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）を整備するものです。

【整備内容】

1、福祉部門

山国地域の福祉計画の目標であります《緑豊かな源流に、みんなが安心して住めるまち》を目指し、山国地域に暮らす人たちがお互いに支え合って活動ができる場を提供します。

新しい施設には、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、介護予防・生活支援サービス事業や認知症予防事業など山国地区における高齢者福祉施策の中核を担う機能に加え、地域福祉ネットワークの拠点として、また、一般の方や子育て世代の方にも利用して頂けるようトレーニングルームや多目的交流スペースなどを整備します。

また、社会福祉協議会が現在実施しております「買い物宅配サービス」も買い物センターが併設されることで、受付から配送までの時間が短縮され、迅速な対応が可能になります。

2、買い物部門

買い物部門では、日常生活に必要な品物を地域内で調達ができるようにし、山国地域住民の買い物に対する利便性の確保、並びに地域住民が集うことによるコミュニティの活性化を図ります。

昨年テスト店舗で需要の高かった生鮮食料品を中心として、お惣菜、日用雑貨も販売します。

管理運営については、「一般財団法人コアやまくに」に委託し、地元町内業者からの仕入れにより商品を確認します。

～6月1日（月）仮店舗オープンの模様～

昨日6月1日にコアやまくに物産館で仮店舗をオープンしました。

オープンイベントとして、紅白もちの配布と卵1パック100円の特売を実施した効果もあり、買い物客は、午前中150名、午後210名の計360名が来店くださいました。開店まもなくたくさんの客が入り、レジに行列ができるほどでした。

また、同日よりコミュニティバスのフリー乗降システムを導入したところ、乗客35人中13人が利用し、今後も定着していくものと思われま

3、共用スペース

福祉、買い物の共用スペースとして、地域交流カフェコーナーを設けます。

ここで、買い物後にコミュニティバスを待つ間、友人、知人と気軽に井戸端会議ができます。

〔施設概要〕

土地：約3,800㎡

建築物：約1,200㎡

構造：木造平屋建て

整備期間：平成27年度 土地購入、造成、建物工事発注

平成28年度 建物工事完成

概算総事業費

(単位：千円)

事業費	事業費			
	国・県支出金	市債	その他	一般財源
490,432	0	441,900	0	48,532

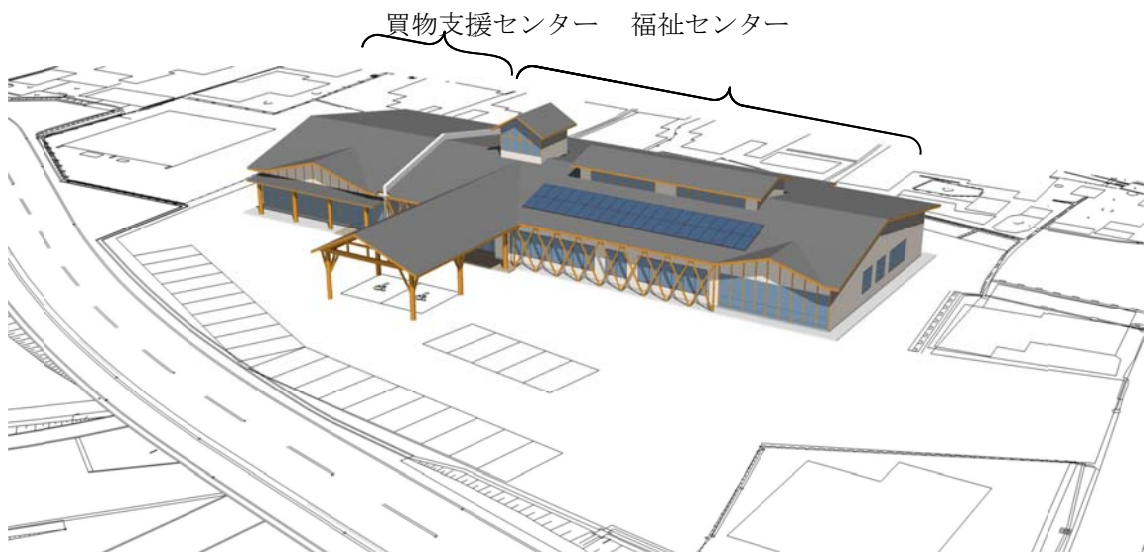
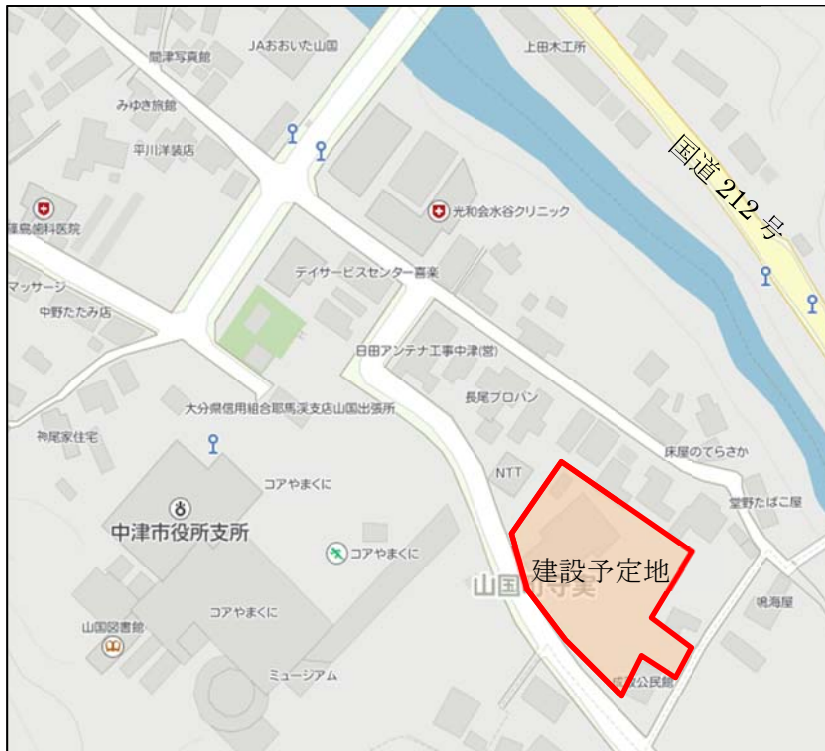
【今回の補正予算の内容】

これまで、民生費、社会福祉施設整備事業費として計上していた山国社会福祉センター（仮称）整備について、今回、福祉サービスや買い物支援等の複合施設として、名称も新たに福祉・買い物センター「かかしの郷」（仮称）整備事業費へ組み替えるものです。

(単位：千円)

事業費	事業費			
	国・県支出金	市債	その他	一般財源
58,329	0	58,100	0	880

福祉・買い物センター「かかしの郷」(仮称) 位置図・完成イメージ図



買物支援センター
(売場面積 112 m²)

地域交流カフェ
コーナー
(面積 46 m²)

トレーニングルーム
(面積 66 m²)